

様式第 1 0

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
杉戸町	杉戸町	令和 3 ～ 7 年度	令和 3 ～ 7 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	生活系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系生活系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
エネルギー回収量	エネルギー回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。
(生活排水処理)

指 標	現 状 (令和 年度)	目 標 (令和 年度) A	実 績 (令和 年度) B	実績 / 目標
総人口				—
公共下水道	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口			%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	%	%	%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	6673	12082	7168
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	15. 04%	29. 61%	16. 65%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	6107	0	5413
				11. 4%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

HP や広報紙を活用するほか、地区の回覧板の活用や浄化槽清掃業者と連携した周知を行ったが、合併処理浄化槽への転換意欲のある方の転換は進んでいるが、転換意欲が低い方が多く残っており、現状、転換需要が非常に低いことと、補助金を活用した場合でも、費用が多額となることから、転換が進まなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 年度まで

合併処理浄化槽への転換の重要性と補助金について、広報を充実させ、転換意欲を高めるとともに、補助金の活用により費用負担を軽減できること強調し、転換需要を高めていくことが重要と考える。

そのため、広報活動、営業活動について、浄化槽清掃業者や浄化槽設置業者と連携し、現状把握と効果的な周知方法を検討し、HP や広報紙といった幅広い周知方法に加え、個別の周知により、より一層の転換を進めていく。

(都道府県知事の所見)

埼玉県生活排水処理施設整備構想の実現に向け、上記方策により合併処理浄化槽への転換を促進し、未処理人口の解消をさらに促進していただきたい。